

総務委員会視察研修報告

城陽市男女参画、倉敷市多文化共生、高知市防災対策を学ぶ

私高橋は、総務委員会の視察研修で10月3日城陽市、4日倉敷市、5日高知市に視察研修に行ってきました。その内容を報告します。

京都市城陽市京都市と奈良市の間に位置する住宅都市。人口80,362人、面積32.74㎢。議員定数20人中、共産党議員5人。

男女共同参画センター「ぱれっと」



女性と男性が互いに認め合い、その個性と能力を発揮し、だれもが豊かに生きる男女共同参画社会の実現を目指す拠点となる施設。現在28団体が登録。会議室2室、交流スペース、親子ルーム、情報交流ボックス、DVなどの相談を受ける相談室などを完備。2階3階は保育所となっている。



説明をいただいた東村センター長。職員は嘱託・臨時を含め6人体制、職員研修、出前講座、計画の進捗管理なども行っている。センターのメリットはDV相談が受けやすいこと、デメリ

ットは市内連携に難があることをあげられた。

岡山県倉敷市瀬戸内海に面する中核市。蔵屋敷などの白壁の町並みの美観地区が有名。人口475,421人、面積354.72㎢。

多国籍の花咲くまちづくり推進事業

平成23年度市民企画提案事業として、多文化共生まちづくり倉敷の会と市国際課が協働で実施。多文化共生の普及啓発、防災研修会、多文化交流会・講座などを実施。他に外国人で構成された多国籍応援団の活動も紹介された。

倉敷市の外国人は5500人、1.1%を占める。40%が在日韓国人、ついで中国人38%、フィリピン8%と続く。就労は3年間の中国技能研修生が多く、ブラジル人の就労は少ない。国際交流協会は姉妹都市との交流などがメインで内なる交流に消極的。ここも同様の課題を抱えていた。



ホテルのように豪華な倉敷市役所

高知県高知市 県庁所在地、人口 339,714 人面積 309.22 km²。掛川城主だった山内一豊が関が原の合戦の功績で土佐に国替え、高知城を築城。坂本竜馬・板垣退助など偉人を多く輩出。



高知市総合安心センター、危機管理室、消防本部も入所、非常時は災害対策本部を開催する。

高知市の地震対策について

高知県ではこれまで 1854 年発生した M8.4 の安政南海地震並みと想定してきたが、これからは、1707 年発生 M8.6 の宝永地震を想定していくとのこと。約 100 秒にわたって強い揺れと予想、震度 5 強から震度 7 と考えられる。

今重点に進めていることは家具の固定化、住宅耐震化、ブロック塀対策などで、津波対策はこれまではあまり想定はしていなかった。

高知市は浦戸湾に河川の土砂が堆積してできた町で軟弱地盤、0 m 地帯を多く抱えている。津波の到達時間は沿岸部で 2 0 分位、市街地では 9 0 分以上としている。避難場所は収容避難場所一学校体育館など避難生活を送る所、一時避難場所一広いグラウンドなど、緊急避難場所一高台、高いビルと分けている。津波避難ビルは現在までに 3 8 ヶ所を指定、その多くは公的施設である。指定基準は、新耐震基準をクリアまたは耐震改修済みのもの、鉄筋コンクリートもしくは鉄骨造、高さは 3 階建てで屋上があるか、4 階建て以上。問題点として夜間の管理、民間マンションではセキュリティなど。写真の看板を設置し市民の啓発に努めている。

自主防災組織はまだ 5 3 % と静岡県からは遅れていた。



高知市の浸水マップ

浦戸地区津波防災マスタープラン

マスタープランは沿岸部の 4 地区が完成している。高知市では平成 1 2 年に津波防災アセスメント調査を実施。結果は同地区は第一波が堤防を越えて浸水すると極めて危険性が高いとの結果がでた。それを受けモデル地区として取り組みを始めた。内容は住民の意識啓発、計画をつくる組織づくり、検討会を定期開催、課題事項を洗い出し順次検討。現地ウォッチング、避難訓練を重ねプランを完成させた。特徴は、行政依存型から住民主導型への転換、小学校の防災学習との連携、より充実した非難計画を作成したことなど。「ゆれたら逃げる」を合言葉にしたプランは防災のまちづくり消防長官賞も受賞している。

高橋よしひろの議会活動通信

2011年10月13日号

袋井市大谷245TEL・FAX(48)6100

E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ更新中！お気軽にアクセスして下さい。